

寒 中 見 舞

早々のお年賀有り難うございました。
さて平成十年の末 悪しき腫瘍に取りつかれてより はや二年の月日が
流れました。この間 入院・退院を繰り返して 去る十一月、十二月そして
正月にかけて 第五回目の別荘生活を送ってまいりました。
・年の瀬を越すも越さねもわが意思に あらずと識るはつれなきものか

わが身に芽生えたこの癌という名の異端児は 元氣旺盛な暴れん坊で 追
撃の度合は迅速 膀胱から肺臓さらには脊髄へと転移しております。
しかし 宿主が参っては元も子も無くなります。しばらくは一つ屋根の下
仲良く共生してゆく覚悟をしております。
なお この晩秋には天候に恵まれて「八幡平」を遊歩してきました。雄大
なその景観は素晴らしく 忘れえない思い出となりました。
・ふたたびもみたびも命よみがへり いま あめつちの極みに立ちね
・計測できぬ 余命の数をお教ふ 落陽は今日も美しかりけり

平成十三年

大 琴